⚠ 注意

- お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。
- 室内ユニットの金属部に手を触れないでください。（けがの原因）
- 次のものは使わないでください。（変形、変色、傷の原因）
  - 40℃以上のお湯
  - ベンジン・ガソリン・シンナーなどの揮発性のもの
  - みがき粉・タワシなどのかたいもの

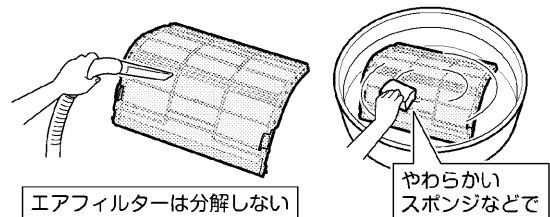
エアフィルター（白色）

フィルター自動掃除「入」でご使用いただく場合は、基本的にお手入れ不要です。▶21ページ
エアフィルターに油汚れやタバコのヤニが付着している、フィルター自動掃除「切」にしている場合など、汚れが気になるときお手入れしてください。

汚れが気になるときに 掃除機 または 水洗い

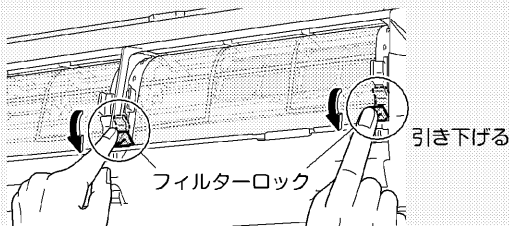
- 掃除機でホコリを吸い取る。
- 汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗う。
- 水洗い後は、軽く水切りする。（フィルターはしぼらない。）
- たるみやシワをのばし、日陰でよく乾かす。

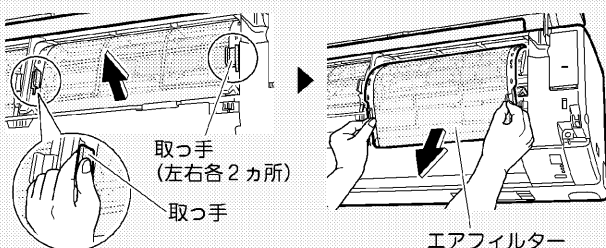
エアフィルターは分解しない

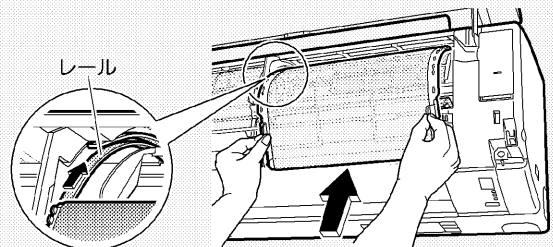
やわらかいスポンジなどで

エアフィルターの取外し

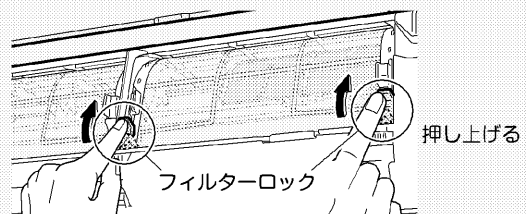
1 前面パネルを開ける。

2 フィルターロック（黄色）に指をかけて、下方向へ引き下げる。

- フィルターロック（黄色）のツマミは左右各2ヵ所にあります。

3 エアフィルターを引き出す。

- 左右の取っ手（青色）を持ち、少し手前に持ち上げる。
- そのまま下方向へ引き出す。

エアフィルターの取付け

1 左右の取っ手（青色）を持ち、レールに沿って差し込む。

2 フィルターロック（黄色）を「カチッ」と音がするまで押し上げる。

確実にロックされていないと前面パネルが破損するおそれがあります。

3 前面パネルを閉じる。

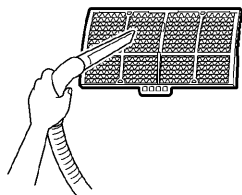
エアフィルターが正しく動作することを確認するため、フィルター掃除運転を行ってください。▶21ページ

お手入れのしかた（つづき）

光触媒集塵・脱臭フィルター（黒色）

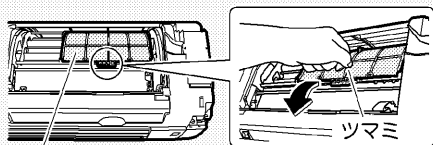
汚れが気になるときに 掃除機

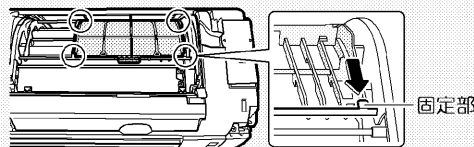
- 掃除機でホコリを吸い取る。

水洗いすると使えなくなります。

光触媒集塵・脱臭フィルターの取外し

1 前面パネルを開ける。▶22ページ

2 右側のエアフィルターを外す。▶23ページ

3 ツマミを持ち、取り外す。

光触媒集塵・脱臭フィルターの取付け

1 ツマミを持ち、脱臭フィルター枠の四隅をしっかり固定部に取り付ける。

正しく取り付けられていないとフィルター掃除運転が正常に行えません。

2 右側のエアフィルターを取り付ける。

3 前面パネルを閉じる。

エアフィルターが正しく動作することを確認するため、フィルター掃除運転を行ってください。▶21ページ

ストリーマユニット

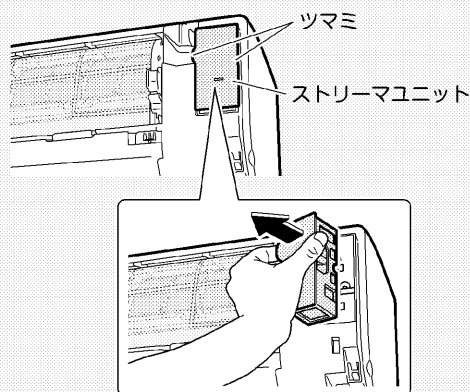
■ タイマーランプが点滅し続けたら、またはシーズンに1度

ストリーマおそうじサインについて

1800時間以上運転するとタイマーランプが点滅してお知らせします。
ストリーマおそうじサイン点滅中はストリーマ放電できません。

ストリーマユニットの取外し

1 前面パネルを開ける。▶22ページ

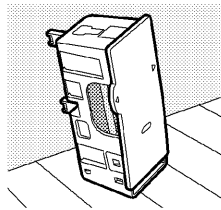
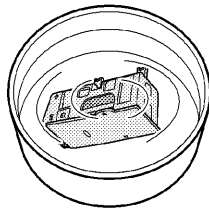
2 ストリーマユニットのツマミを持ち、手前へ引き出す。

ストリーマユニットの取付け

1 ストリーマユニットをもとどおり取り付ける。

2 前面パネルを閉じる。

電源プラグを抜くか
ブレーカーを切る

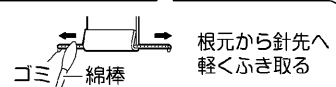
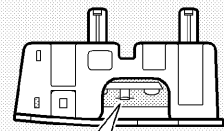
つけおき　ふき取り

①ぬるま湯または水につけおきする。
（約１時間）
②綿棒またはやわらかい布で汚れを落とす。
（ゴム手袋使用）
③流水ですすぎ、水気を切る。
④風通しのよい日陰で乾燥する。（約１日）

お手入れ終了後　**ストリーマおそうじサインリセット**

お手入れ後、電源プラグを差し込むかブレーカーを入れ、運転しない状態で（サインリセット）を押す。 ▶8ページ

- ストリーマおそうじサインが消灯します。

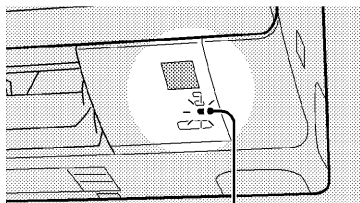
■ 針にゴミが付着している場合

針に付着したゴミを、綿棒などのやわらかいものに水や液体中性洗剤をしみ込ませて軽くふき取ってください。
ゴミをふき取る際は、針が変形しないように注意してください。
針が変形すると脱臭能力が低下します。

お願い

- 汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。
- 液体中性洗剤は洗剤の注意書きに記載された方法で使用し、使用後は洗剤が残らないように十分に水洗いしてください。
- 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、かたいタワシなどでこすらないでください。
（変形、破損、金属部のサビの原因）
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。（誤作動の原因）
- ストリーマユニットは分解しないでください。

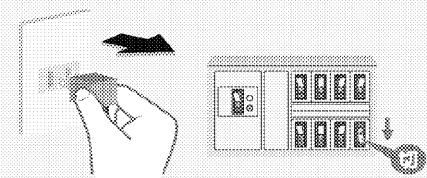
お手入れのしかた（つづき）

ダストボックス

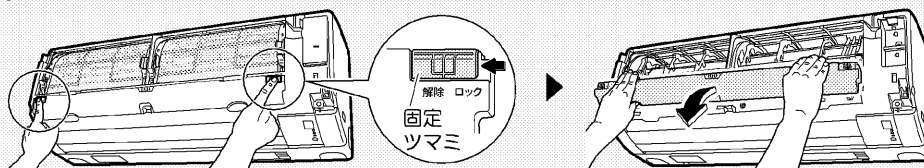
■ 内部クリーン・おそうじランプが点滅し続けたら

内部クリーン・
おそうじランプ（緑色）

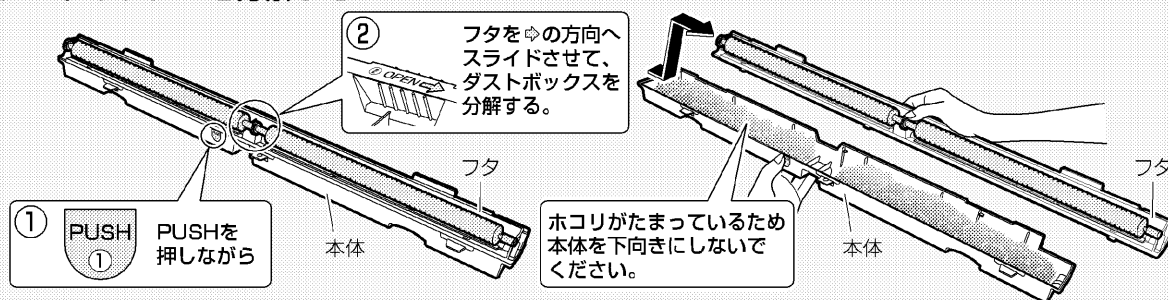
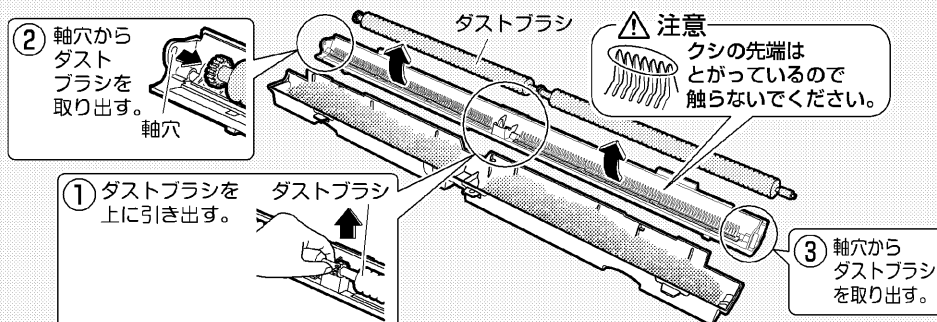
ダストボックスおそうじサインについて

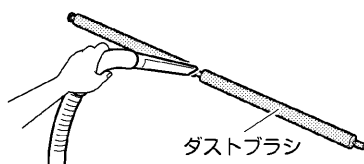
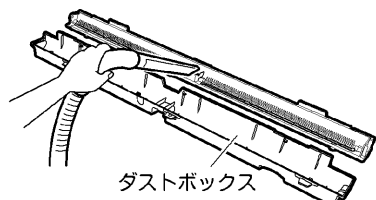
- フィルター掃除運転（自動・手動）によりダストボックス内にホコリがたまる、またはダストブラシが汚れると、内部クリーン・おそうじランプが点滅してお知らせします。
  ダストボックスおそうじサイン点滅中は、フィルター掃除運転ができません。

電源プラグを抜くかブレーカーを切る

ダストボックス／ダストブラシの取外し

1 前面パネルを開ける。▶22ページ

2 左右2ヵ所の固定ツマミ（青色）を解除側にし、ダストボックスを両手でゆっくり引き出す。

3 ダストボックスの裏側にある「PUSH」が手前にくるよう持ち替える。

4 ダストボックスを分解する。

5 ダストブラシを取り出す。

掃除機 または 水洗い

- ダストボックスとダストブラシのホコリを掃除機で吸い取る。
- 水洗いをした場合は、日陰でよく乾かす。

- ダストブラシは取り外せます。

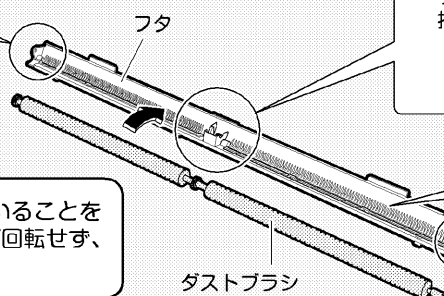
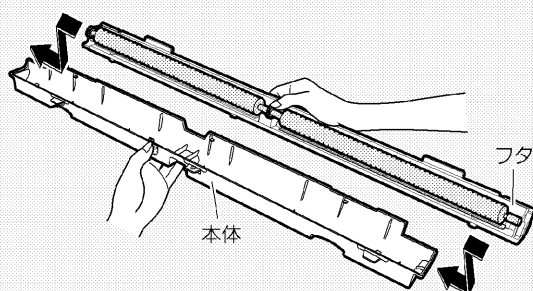
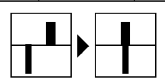
お手入れ終了後　ダストボックス おそうじサインリセット

お手入れ後、電源プラグを差し込むかブレーカーを入れ、運転しない状態で サインリセット を押す。 ▶8ページ

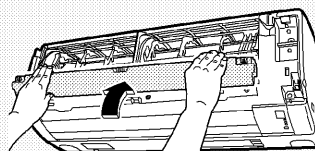
- ダストボックスおそうじサインが消灯します。

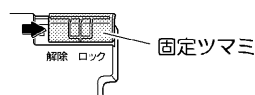
ダストボックス／ダストブラシの取付け

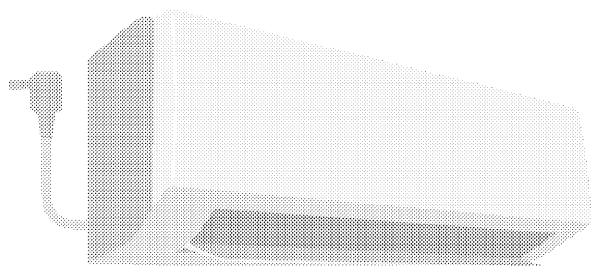
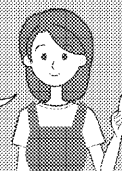
1 ダストブラシを取り付ける。

ダストブラシは確実に取り付いていることを確認してください。ダストブラシが回転せず、運転しなくなる場合があります。

2 ダストボックスを閉じる。

3 ダストブラシが奥側になるように、ダストボックスを両手で持ち、本体に押し込んで取り付ける。

固定ツマミ(左右２ヵ所)をロック側にする。
確実に固定されていないと正常にフィルター掃除運転を行いません。

4 左右の固定ツマミをロック側にする。

5 前面パネルを閉じる。

はじめに　基本の使いかた　便利な機能　お手入れ　困ったとき

よくあるご質問

運転を停止しても運転し続ける

● フィルター掃除運転、または内部クリーン運転をしているためです。 ▶20, 21ページ

冷えない・暖まらない

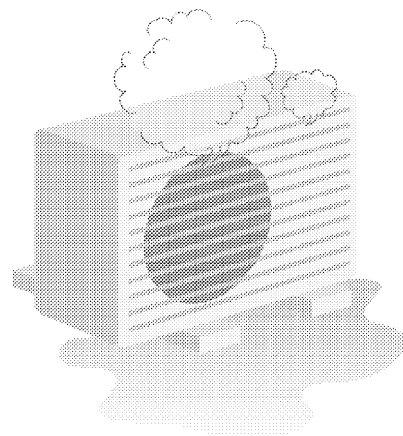
● お部屋の温度が設定温度に近づくと能力を抑えて運転する機能が働くためです。お好みに合わないときは設定温度を変えてください。

● 室内ユニットの真下や横に家具があると、センサーが設定温度に近づいたと誤認識することがあります。
大きな家具など室内ユニットに近づけ過ぎないようにしてください。

● 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に付着した霜を取り除く運転を行うことがあります。(霜取り運転)
霜取り運転が終わると自動的に暖房運転を再開しますので、3～10分間お待ちください。

● パワーセレクトが「入」に設定されていると能力を抑えた運転をします。
お好みに合わない場合は「切」にしてください。
▶19ページ

室外ユニットから水や湯気が出る(霜取り運転)

● 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に付着した霜を取り除く運転を行うことがあります。このとき、溶け出した霜が水や湯気となって出るためです。

運転中に停電になったら

通電後 運転/停止 を押して運転を再開してください。

雷が鳴り始めたら

落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、
電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってください。

長期間使わないとき

①晴れた日に内部クリーン運転をして、内部をよく乾燥させる。
(内部クリーン運転のしかた ▶20ページ)
②運転停止後、電源プラグを抜くか、エアコン専用のブレーカーを切る。
③リモコンの電池を取り出す。

● 再び使用する場合は、電源プラグをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入れてください。
各部の動作チェックを行います。